

SHIRAKOBATO

# しらこぼと



1994. 2

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 118

日本野鳥の会 埼玉県支部

# 新年 おたより特集



## 白頭鷲

=北アルプスをゆく=  
大宮の白頭鷲

この白頭鷲はかなりの老鳥でした。アスナロではありませんが、今年こそは、今年こそは空を飛べるだろうと、毎日大変な努力を積み重ねていますが、修業が足りないのか依然として1メートルも飛べません。仕方なく人間様と同じように1歩々々歩いて、北アルプスの3000メートル級の山へノコノコとでかけました。

アルプスの高山系のトリ、いったいどんなものがみられるだろうか？あまり多くは見られませんでした。見られたのはやはり高山特有のトリでした。人間を恐れず1~2メートルの近くまでくるのはイワヒバリ。山小屋の周辺のハイマツの中で営巢中のホシガラス。稜線すれすれに風を切って飛びかうアマツバメ。そのうなりが聞こえてくるようでした。

ハイマツに覆われた斜面を黒い影がスーっ



謹賀新年 千葉幸好・初子  
春香・剛子  
愛子

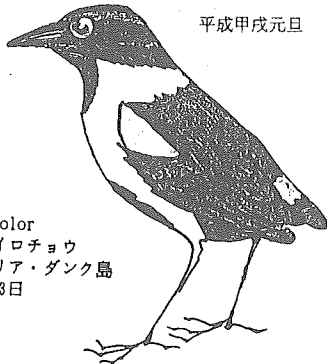
と動く。スワっとその影を追う。大型のタカだ！それが、ヒラっ一闪、急降下！その先からバタバタと、4~5羽のライチョウがハイマツのブッシュに逃げ込む。一瞬の出来事でした。双眼鏡で懸命にその猛禽を追う。悠々と斜面をなめるようにゆっくりと流してゆく。そのずっしりと量感のある幅広い翼！クマタカだ！クマタカ以外の何者でもない。

ライチョウは猛禽を恐れて何時もハイマツの中にもぐっている、と聞いていましたが、その猛禽はなんとクマタカでした。クマタカをこの立山連峰で観察したのは一昨年の夏に続いて2度目のことです。一昨年の観察では1日の中に4~5回クマタカを目撃しました。果たしてクマタカ以外にも2,500~3,000メートルの高度で、ライチョウ程度の大きな獲物を狙う猛禽がいるでしょうか？可能性としては、イヌワシが考えられますが、皆さんの目で機会ある度にお確かめ頂きたいと思います。



あけましておめでとうございます

昨年は喫煙問題とエイズ対策に加えてQOL（人生の質・命を長らえれば良いというものではないという課題）の勉強を始めることになりました。いずれも現在わが国の公衆衛生が抱えている大きな課題です。家内は家庭菜園に加えて謡にも一層励むようになり、私も時々一緒に能を見に行っています。娘翼は浪人1年生。今度は果たして成功するか？



平成甲戌元旦

Noisy Pitta  
Pitta vesicolor  
ノドグロヤイロチョウ  
オーストラリア・ダック島  
1993年9月23日

眞輪眞澄/左知子/翼

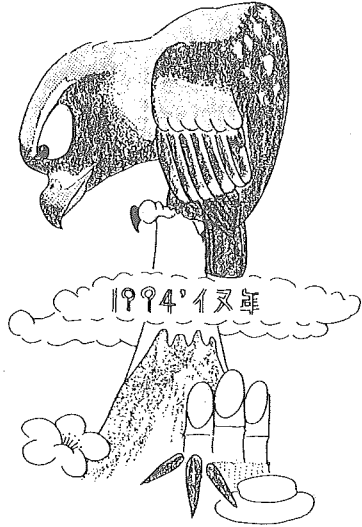
トキ観察記

高橋 達也  
(戸田市)

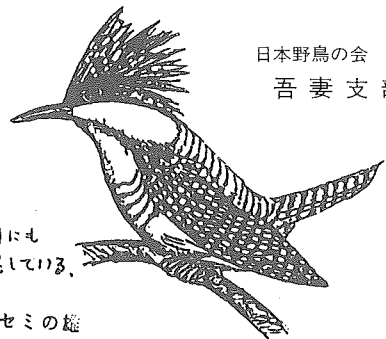
10月の某日、職場で昼食をとりながらニュースを見てビックリ!!何とトキが一般公開になったというではないか!! 12月に入りボーナスも出たこともあり、いざ佐渡へ。新潟港からジェットフォイルで1時間、両津港に到着。トキ保護センターへはバスの便はなくタクシーを利用するしかない。約15分で2500円。事前の情報ではトキは老齢につき、体調不十分と判断された時には公開を控えるということなので心配していたが、現地に着いて一安心!!手前からホオアカトキ、クロトキと2つの飼育舎が並び、一番奥の飼育舎に♀のミドリが枝の上でたたずんでいた。♀のキンはあまりの老齢のため一般公開はしていないので実際には♀のミドリ1羽だけが公開されている。ミドリは思ったよりも羽の色つやもよく大切にされているようであった。頭上をトビが飛んだりするとやや警戒していたが、終始枝の上で羽づくろいなどをしていた。トキは一般公開されているものの観光の目玉にするつもりはないらしく、周辺にはトイレと駐車場以外何もないのでタクシーで行かれる方は、待っていてもらわないと帰れなくなってしまうので要注意!!

迎春

願 い  
うでくれ  
エ!  
ワシはイヌワシじゃ!  
近ごろどこも  
正月に  
そ



日本野鳥の会甲府支部  
支部長 中村 司



日本野鳥の会  
吾妻支部

吾妻川にも  
生息している。

ヤマセキの籠

頭の体操

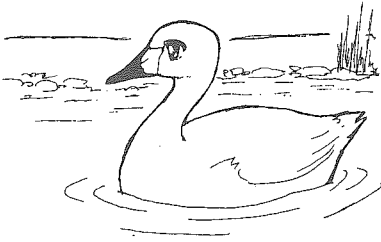
下にある5つの言葉をしりとりで一列に並べて、その中からある鳥名を見つけ出してください。正解しても何もでませんよ。

芝	辛	麻	従	神
居	味	疹	兄	輿



(押川 歳子)

# 行事あんない



(渡辺 敦)

## 大宮市・大宮市民の森探鳥会

期日：2月5日(土)

集合：午前8時10分 JR宇都宮線土呂駅東口  
または午前8時30分 市民の森入口前  
(土呂駅東口より東へ徒歩5分)

担当：林(慎)、松井、藤原、桜庭、工藤、新堂、中村(榮)

見どころ：芝川にバン・タシギ・カモ類、田圃の中にツグミやタヒバリ、こんな都会の近くでも、今が一番鳥がたくさん見られる季節ですよ。

## 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：2月6日(日)

集合：午前8時30分 自然観察公園駐車場  
交通：JR高崎線北本駅西口よりリーダーの指示に従ってタクシーに分乗して下さい。(午前8時15分ごろから)

担当：岡安、榎本、内藤、吉原、関口、永野(安)、永野(京)、渡辺(光)

見どころ：春の到来を早くも告げる梅や路傍のヒメオドリコソウ・オオイヌノフグリ。天空にワシタカ、疎林に冬鳥を求めて歩きます。珍鳥も出てくれるかな。

## 深谷市・仙元山探鳥会

期日：2月6日(日)

集合：午前9時 JR高崎線深谷駅前  
担当：菱沼(一)、小淵、菱沼(洋)、小池、小野沢、中島(章)

見どころ：「埼玉見て歩き・県北版」の瀧宮

探鳥会への参加は、特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。受付は探鳥会当日。参加費は一般100円。会員及び中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。小雨決行です。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時ごろになります。

◇はじめて探鳥会に参加される方へ◇

集合場所へ着いたら、まず“日本野鳥の会埼玉県支部”の旗か、青い腕章をつけた担当者を探して、遠慮なく声をおかけ下さい。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

神社から仙元山公園へのコースを歩き、冬の小鳥メジロ・ビンズイ・クイタダキ・アオゲラなどを探します。

## 上尾市・丸山公園探鳥会

期日：2月11日(金・祝)

集合：午前7時30分 丸山公園北口駐車場  
交通：JR高崎線上尾駅西口1番バス乗場より西上尾車庫行き7:03発に乗車、終点下車徒歩20分、リーダーが案内します。

解散：午前11時頃

担当：立岩、吉原、阿久沢、永野(安)、永野(京)、丹

見どころ：寒い中の早朝探鳥会です。コバルトブルーの一直線に飛ぶ姿にきっと寒さも忘れることでしょう。でも防寒対策は万全にしてお出掛けください。

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：2月13日(日)

集合：午前9時30分

交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乗車

担当：菱沼(一)、森本、関口、菱沼(洋)、斎藤、塚本、中島(章)、小池、和田、石井(博)

見どころ：2月の大麻生はワクワク、ドキドキ、赤・青・黄・それとも黒。それぞれが何かは自由に想像してきてくださいネ。

## 所沢市・狭山湖探鳥会

期日：2月13日(日)

集合：午前9時10分 西武線西武球場前駅  
交通：西武狭山線西所沢8:58発→西武球場前  
9:03着  
解散：狭山湖堤防北側  
担当：三田、石井（幸）、長谷部、柳原、黒  
田、小野、杉本、山本、中村（祐）  
見どころ：真白だったカムリカイツブリも  
ほおひげが色付き始めています。ホオ  
ジロガモや森の小鳥達もあなたを待つ  
ています。防寒対策もお忘れなく。

#### 澗沼・大洗探鳥会（日帰り・要予約）

期日：2月19日（土）  
まだ間に合います。1月号12頁の「はみだし  
行事案内」をご覧のうえ、いますぐお申し込  
みください。お待ちしております。

#### 東京都・高尾山探鳥会

期日：2月19日（土）  
集合：午前9時 京王線高尾山口駅前  
交通：京王新宿線7:48発急行に乗車  
担当：登坂、佐久間、渡辺（敦）  
見どころ：クリクリとしたルリビタキの瞳  
を求めて高尾山自然研究1号路を登る  
予定です。シジュウカラやエナガなどの  
混群が目の前までやってくるかも、そ  
れにヤマガラに逢いたい人もどうぞ。

#### 浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：2月20日（日）  
集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東  
口（集合後、バスで現地へ）または、  
午前9時 浦和市立郷土博物館前  
後援：浦和市立郷土博物館  
担当：楠見、福井、渡辺（周）、手塚、笠原、  
伊藤、田口、岡部、嶋田、倉林  
見どころ：冬の風物詩ハマシギが芝川を飛び、  
タゲリ・カワウ・カモ達も勢揃い。斜面  
林のコナラやくヌギの木々、田圃道の  
オオイヌノフグリには春のきざし、三室  
の里に春をさがしにいらっしやい。

#### 滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：2月20日（日）  
集合：午前9時30分 森林公園南口駐車場

注意…30分集合が早くなりました

交通：東武東上線森林公園駅より森林公園南  
口行き9:17発バスに乘車、終点下車  
費用：入園料 370円（子供80円）  
担当：吉原、榎本、内藤、岡安、立岩、関  
口、長谷部、永野（安）、永野（京）  
見どころ：日だまりの福寿草、香る紅梅白梅  
に春の息吹を感じながら、ミヤマホオ  
ジロ・ルリビタキ・ツグミの仲間を探  
して歩きます。梅まつりの甘酒サービ  
ス、今年もやっているかな？

#### 「しらこぼと」袋づめの会

とき：2月26日（土）午後1時～2時ごろ  
会場：支部事務局108号室

#### 「野鳥写真クラブ」定例会

とき：2月26日（土）午後2時ごろ～5時  
会場：「しらこぼと」袋づめの会と同じ

#### 越谷市・吉利根川探鳥会

期日：2月27日（日）  
集合：午前9時 東武伊勢崎線北越谷駅東口  
（集合後、バスで現地へ）  
交通：東武野田線大宮8:02発→春日部で東武  
伊勢崎線乗換え、8:36→北越谷8:48着  
担当：山部、石川、篠原（東）、篠原（五）、吉  
安、神場、下川  
見どころ：探鳥会に初めて参加の方やビギ  
ナーにピッタリ。カルガモ・オナガガ  
モ・ヒドリガモ・コガモ・ユリカモメ・  
セグロカモメ等の識別が中心です。

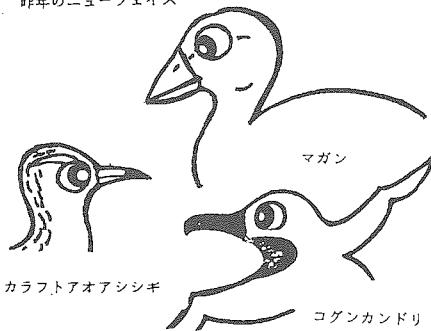
#### 行田市・さきたま古墳公園探鳥会

期日：2月27日（日）  
集合：午前8時45分 JR高崎線吹上駅北口ま  
たは午前9時30分 県立さきたま資料  
館前レストハウス  
担当：内藤、岡安、榎本、逸見、関口、和  
田、石井（博）  
見どころ：「野鳥」誌1月号に登場した水鳥  
の埴輪（白鳥？）はこの地から出土。  
ロマン溢れる白鳥伝説に想いを馳せて  
歩けば、思わぬ出現があるかも。

野鳥情報

- カンムリカイツブリ ◇10月21日、戸田市道満荒川第一調節池で2羽（高橋達也）。
- ミミカイツブリ ◇10月6日、杉戸町の大島新田貯水池で1羽（秋間利夫）。
- ヨシゴイ ◇9月19日、戸田市道満の釣り堀横の林から1羽飛び、護岸の草むらへ入り込む。25日にも同所で1羽（駒崎政雄）。
- ◇10月15日、加須市の埼玉水族館付近で1羽（秋間利夫）。
- ゴイサギ ◇10月6日、幸手市木立の中川で成長11羽、幼鳥30羽（秋間利夫）。
- チュウサギ ◇10月20日、幸手市木立の中川で1羽（秋間利夫）。
- アオサギ ◇10月14日、幸手市木立の中川で13羽（秋間利夫）。◇10月28日、春日部市の古利根川、東武野田線鉄橋上流で1羽（門谷直樹）。
- オシドリ ◇9月26日、戸田市道満荒川第一調節池で♂1羽（駒崎政雄）。◇10月16日寄居町の玉淀ダム上流で71羽（小淵健二）。◇10月17日、坂戸市西坂戸の調整池でエクリプス♂2羽。（増尾隆）。
- ヨシガモ ◇9月15日、戸田市道満荒川第一調節池でエクリプスの♂1羽（駒崎政雄）。
- シマアジ ◇9月11日、戸田市道満荒川第一調節池で4羽。26日には、同所で13羽（駒崎政雄）。

謹賀新年  
 昨年のニューフェイス



東京野鳥公園 レンジャー同  
 安西英明 安藤康弘 安東恵美子 川崎慎二  
 川島賢治 根本智 小川麻子

〒143 東京都大田区東海3-1  
 TEL 03-3799-5031  
 FAX 3799-5032

- スズガモ ◇10月29日、本庄市の阪東大橋下流で♀1羽（井上幹男）。
- ホオジロガモ ◇10月29日、本庄市の阪東大橋下流で♀1羽（井上幹男）。
- ミサゴ ◇10月20日、幸手市木立の中川で1羽。カラスに追われる（秋間利夫）。
- ツミ ◇9月25日、戸田市道満の釣り堀横の林で幼鳥1羽。カワラヒワを襲ったが失敗。何度か同じ様な事を繰り返していたが、諦めたのか対岸の小さな木にしばらくとまっていた（駒崎政雄）。
- ノスリ ◇10月23日、川越市掘津河川敷内の集落の北側田んぼのいつもの電柱で1羽（佐藤進）。
- ハヤブサ ◇10月16日、熊谷市大麻生の旧押切橋下流で1羽（菱沼一充）。
- コチョウゲンボウ ◇10月29日、本庄市の阪東大橋下流で1羽（井上幹男）。
- チョウゲンボウ ◇10月5日、浦和市秋ヶ瀬のA区で♂2羽♀1羽。空中戦をやっていて、♂がネズミを捕食する（田中富夫）。
- ◇10月11日、熊谷市の上越新幹線の橋桁をねぐらにしていた（鈴木博志）。◇10月31日、寄居町用土で1羽（小淵健二）。
- コチドリ ◇10月6日、幸手市木立の中川で30羽以上（秋間利夫）。
- メダイチドリ ◇10月7日、深谷市の上武大橋下流で1羽（井上幹男）。
- ムナグロ ◇10月3日、浦和市秋ヶ瀬のA区で300羽以上（田中富夫）。
- ダイゼン ◇10月16日、深谷市の上武大橋下流で7羽（井上幹男）。
- ケリ ◇10月16日、深谷市の上武大橋下流で1羽（井上幹男）。◇10月29日、本庄市の阪東大橋下流で1羽（井上幹男）。
- タゲリ ◇10月29日、戸田市道満荒川第一調節池の干潟で2羽（高橋達也）。◇10月30日、桶川市川田谷江川の田んぼで3羽。小雨の中寒そうにじっとしていた。31日、同所で40羽（立岩恒久）。◇11月3日、浦和市秋ヶ瀬のB区で16羽（渡辺喜八郎）。
- トウネン ◇9月11日、戸田市道満荒川第一調節池で1羽（駒崎政雄）。◇10月6日、杉戸町の大島新田で1羽（秋間利夫）。

◇10月10日、吉見町一ツ木の水田で2羽  
(石井智)。

オジロトウネン ◇10月6日、幸手市木立の  
中川で2羽(秋間利夫)。◇10月11日、熊  
谷市の休耕田で1羽(鈴木博志)。◇10月  
20日、幸手市木立の中川で3羽(秋間利  
夫)。◇10月10日、吉見町一ツ木の水田で  
1羽(石井智)。

アメリカウズラシギ ◇9月26日、浦和市秋  
ヶ瀬のA区で1羽(駒崎政雄)。

ウズラシギ ◇9月26日、浦和市秋ヶ瀬のA  
区で2羽(駒崎政雄)。

ハマシギ ◇10月29日、戸田市道満荒川第一  
調節池の干潟で4羽(高橋達也)。

エリマキシギ ◇9月15日、浦和市秋ヶ瀬の  
A区で♀3羽(田中富夫)。◇10月23日、  
志木市の柳瀬川、高橋～栄橋間で9羽(中  
村治、渡辺敦)。◇10月29日、本庄市の阪  
東大橋下流で1羽(井上幹男)。

オオハシシギ ◇10月20日、杉戸町の大島新  
田の倉松川で1羽(秋間利夫)。

ツルシギ ◇9月15日、吉見町の吉見町総合  
運動公園のそばの水田で幼鳥2羽(石井  
智)。◇10月20日、杉戸町の大島新田の倉  
松川で1羽(秋間利夫)。

コアオアシシギ ◇10月6日、杉戸町の大島  
新田貯水池で1羽(秋間利夫)。

アオアシシギ ◇9月15日、戸田市道満荒川  
第一調節池で2羽(駒崎政雄)。◇9月  
15日、吉見町の吉見町総合運動公園そばの  
水田で5羽(石井智)。10月6日、杉戸町  
の大島新田貯水池で6羽(秋間利夫)。

クサシギ ◇10月20日、杉戸町の大島新田の  
倉松川で14羽(秋間利夫)。

タカブシギ ◇10月20日、杉戸町の大島新田  
貯水池で3羽(秋間利夫)。◇10月23日、  
志木市の柳瀬川、高橋～栄橋間で1羽(中  
村治、渡辺敦)。

ウミネコ ◇10月23日、志木市の柳瀬川、栄  
橋上流で成鳥1羽(渡辺敦)。

アジサシ ◇9月11日、戸田市道満荒川第一  
調節池で若鳥6羽(駒崎政雄)。

ツツドリ ◇9月15日、戸田市道満で2羽  
(駒崎政雄)。◇10月17日、坂戸市城山で



草野 祥三・恵  
可奈子・康介

## 賀正

1羽(増尾隆・節子)。

アマツバメ ◇11月10日午後4時30分、川口  
市の川口市立小谷場中学校上空で約10羽  
(石井智)。

カワセミ ◇11月3日、浦和市の白幡沼で♂  
1羽。水面を飛び回り、2～3度ダイビング  
していました。羽のブルーがキラキラ輝  
いてとってもキレイでした。あんな所でも  
いるんですね～(鈴木美由貴)。

アオゲラ ◇10月30日、深谷市の仙元山公園  
で1羽(菱沼一充)。

ショウドウツバメ ◇9月26日、戸田市道満  
荒川第一調節池で26羽(駒崎政雄)。◇  
10月11日、浦和市上野田の見沼自然公園  
(工事中)上空で5羽(工藤洋三)。

ツバメ ◇11月3日、桶川市川田谷で1羽。  
江川の上を行ったりきたり飛んでいた(立  
岩恒久)。

ムネアカタヒバリ ◇9月26日、浦和市秋ヶ  
瀬のA区で冬羽1羽(駒崎政雄)。

タヒバリ ◇10月29日、深谷市の上武大橋下  
流で3羽(井上幹男)。

ヒヨドリ(渡り) ◇10月23日午前6時  
30分、桶川市若宮の自宅上空を20羽の群れ  
で北から南西へ渡る(立岩恒久)。

ノゴマ ◇10月10日、深谷市の上武大橋下流  
で♂1羽。3年前の10月18日以来の再会で  
す(井上幹男)。

ジョウビタキ(初認) ◇10月22日、深谷市  
の上武大橋下流で♀1羽(井上幹男)。◇  
10月23日、寄居町の玉淀川原で♀1羽(小

渕健二、石井幸男)。◇10月31日、桶川市下日出谷の畑で♂1羽「ヒッヒッ」と鳴きながら飛ぶ(立岩恒久)。◇10月31日、利根導水路の落ち口の桑の木で♂1羽(長島岩雄)。◇11月2日、吹上町荊原地区の荒川堤外のアシ原で♀1羽(栗原省二)。

マミチャジナイ ◇10月23日、戸田市道満の釣り堀横の林で1羽(高橋達也)。

ツグミ(初認) ◇11月8日、与野市の鈴谷公園で4羽(石井智)。

キクイタダキ ◇10月30日、深谷市の仙元山公園で数羽。小群で移動する(菱沼一充)。

ノビタキ ◇9月25日、戸田市道満で冬羽4羽(駒崎政雄)。◇9月26日、浦和市秋ヶ瀬のA区で冬羽1羽(駒崎政雄)。

キビタキ ◇9月15日、戸田市道満の釣り堀横の林で♂1羽。26日、同所で♀1羽。管理橋付近の林で幼鳥♂1羽(駒崎政雄)。◇10月12日、戸田市の戸田公園で♀1羽(高橋達也)。

サメビタキ ◇10月11日、浦和市上野田のサギ山記念公園付近で1羽。胸と脇の灰褐色を確認(工藤洋三)。

エゾビタキ ◇9月26日、戸田市道満の釣り堀横の林で成鳥2羽、若鳥2羽。管理橋付近の林で成鳥2羽(駒崎政雄)。◇10月11日、浦和市上野田のサギ山記念公園付近で1羽(工藤洋三)。

サンコウチョウ ◇9月15日、戸田市道満の釣り堀横の林で♀1羽(駒崎政雄)。

ヤマガラ ◇9月15日、富士見市水子の水谷東小学校付近で1羽(神場真文)。

メジロ ◇10月23日、桶川市若宮の自宅前のくすのきで5羽。今秋初めてやってきて「チチチ…」とさえずる(立岩恒久)。



(高橋 達也)

カシラダカ(初認) ◇10月24日、熊谷市大麻生の野鳥の森で♂1羽(菱沼一充)。◇

10月29日、深谷市の上武大橋下流で1羽(井上幹男)。◇11月4日、吹上町大芦、荒川堤下の桜の木で2羽(栗原省二)。

アオジ ◇10月29日、深谷市の上武大橋下流で1羽(井上幹男)。

ノジコ ◇10月26日、戸田市の戸田公園で1羽。当地初記録(高橋達也)。

ウソ ◇10月30日、深谷市の仙元山公園で♂1羽。頭上で「フィフィ」と声が出た。口笛で答えると近くまで寄ってきて、姿を見せてくれた(菱沼一充)。

イカル ◇11月1日、桶川市若宮の自宅ベランダで鳴き声を聞く(立岩恒久)。

ニューナイスズメ ◇10月9日、志木市の柳瀬川、高橋～栄橋間の中州で♀1羽(中村治)。

コムクドリ ◇9月26日、戸田市道満の釣り堀横の林でムクドリ群れ中に9羽(駒崎政雄)。

カケス ◇10月9日、利根導水路の荒川、落ち水口付近の屋敷林で2羽(長島岩雄)。

表紙の写真

ネイチャーフォトコンテスト 1993 入選作

チョウゲンボウ(ハヤブサ科)

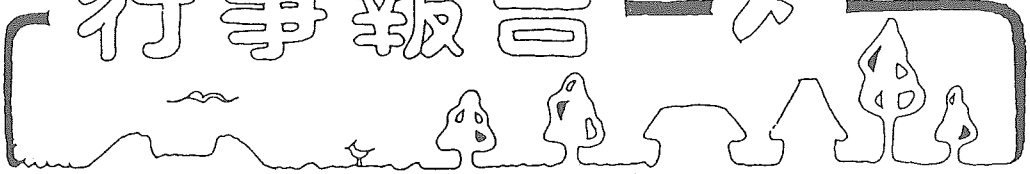
冬の渡良瀬遊水池には、多くのワシ・タカがいる。チョウゲンボウもその一種で、翌年の春まで越冬するものが多い。

彼らは遊水池の土手を中心に生活しているようだ。

土手によって起きるわずかな上昇気流を利用してホバリングし、土手を見張る。そして急降下してハンティングする。獲物がいなければ数十メートル移動し、ホバリングをくり返す。 宇賀神若人(朝霞市)



# 行事報告



10月3日(日) 北本市 石戸宿

参加: 36人 天気: 曇

カイツブリ カワウ コガモ トビ オオタカ ノスリ サシバ ハヤブサ チョウゲンボウ バン タシギ キジバト ホトトギス SP カワセミ アオゲラ コゲラ ヒバリ ショウドウツバメ ツバメ ヒヨドリ モズ ウグイス亜科SP エゾビタキ コサメビタキ シジュウカラ ホオジロ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (31種) 鳴き声も立てずループ飛行を繰り返すエゾビタキとコサメビタキ。荒川の河原では、トビ、サシバ、オオタカ、ノスリが次々に出現。最後はハヤブサ、チョウゲンボウで締めくくり。地上には、ツリフネソウとアキノタムラソウ。(岡安征也)

10月24日(日) 川越市 西川越

参加: 51人 天気: 晴

カイツブリ ダイサギ チュウサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ トビ チョウゲンボウ コジュケイ キジ イカルチドリ キジバト カワセミ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ カワラヒワ ス



あけましておめでとつこいませ  
平成六年元旦

(丸山 政弘)

ズメ ムクドリ オオジュリン ハシボソガラス ハシブトガラス (28種) 上々の日和の中、水上公園で早くもチョウゲンボウとカイツブリが。しかし、あまりの上天気のため、鳥たちはその後いまいち。お目当てのカワセミ君もチラッとしか姿を見られなかったが、広い河原でのんびりと一日を過ごした。

(佐久間博文)

10月30日(土) 『しらこぼと』袋詰めのお

ボランティア: 15人

赤塚義正、荒木恒夫、石井博、海老原教子、角田真喜子、神場真文、小林孝太郎、桜庭勇、佐藤信治、墨江光子、中村治、中村榮男、藤野富代、渡辺敦、渡辺喜八郎

10月30日(土) ~ 11月7日(日)

バードウォッチングウィーク

“埼玉の自然見て歩き”展

ボランティア: 13人

海老原教子、海老原美夫、大嶋己恵子、小淵健二、草間和子、楠見文子、関口善孝、内藤義雄、菱沼一充、菱沼洋子、福井恒人、町田好一郎、吉本富美子 ♪ 「今年もそろそろこの写真展があるはずだと思って、楽しみにしていましたよ」「素晴らしい写真がありますね」「この会場でカレンダーを買うのが、もう毎年の行事のようになっていきます」……いろいろなうれしい会話もありました。ボランティアの皆さん、ご苦労様でした。

11月3日(水、休) 上尾市 丸山公園

参加: 31人 天気: 曇時々晴

カイツブリ カワウ コサギ カルガモ タカSP コジュケイ キジ タゲリ イソギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ

ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (32種) 朝も早くから31名の皆様が集まってくれた。斜面林のまだ青い葉が残る枝先には、ジェーシューとカケスが数羽集まり、その木の下一面にドングリが広がっているのを観察した。ケヤキの紅(黄)葉が晩秋の光に映えて、なんと美しいことでしょう！畑では今秋初めてのジョウビタキがヒッヒッと鳴いた。荒川土手へ行く草原では、コジュケイが6~7羽一斉にバタバタと飛び立ち、鳥も人もびっくり！キジがケーンと鳴きながら荒川をひとつ飛びしてこちら側の畑に降りた。最後には、カワセミが目の前でコバルトブルーの体を走らせてくれた。秋の日を浴び、のんびりと楽しい探鳥会でした。(立岩恒久)

11月3日(水、休) 大宮市 大宮市民の森  
参加: 40人 天気: 晴

カワウ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ オオタカ ツミ バン イソシギ タシギ キジバト コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 芝川に前回のカワセミに続いて、今回キセキレイが出現。ほんとに川がきれいになっていってるのかなあ。それとも住み家を追われているのかも。来たばかりのジョウビタキもじっくり見られて、秋の日ののどかなお散歩でした。

(林 慎一)

11月3日(水、休) 富士見市 柳瀬川  
参加: 40人 天気: 晴

カワウ コサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ チョウゲンボウ タゲリ イソシギ タシギ ユリカモメ キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アオジ カワラヒワ スズメ ム

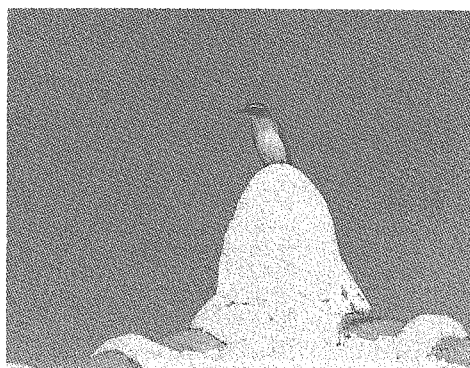
クドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (27種) 11月3日は晴の特異日と言われるが、薄日でまずまずの日。前日に飛来したタゲリも、開始早々に間近で見られて一安心。川のカモ、セキレイたちをゆっくり見たり、土手の草花を見たり、楽しんだ一日でした。(佐久間博文)

11月7日(日) 吉見町 吉見百穴周辺  
参加: 42人 天気: 曇後晴

カイツブリ ダイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ トビ オオタカ ノスリ キジバト コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (32種) 朝からまずまずの探鳥会日和。心配していたウオーキングの団体とのニアミスもなく、参加者それぞれが自分なりの「小さな秋」を見つけてくれたようだった。誰かがゴジュウカラを見たとのことで、皆で探したが確認できず。残念ながら参考記録。かご抜けのギンバラが変なところで盛り上げてくれたのも思い出深い。(榎本秀和)

11月7日(日) 浦和市 秋ヶ瀬  
参加: 34人 天気: 薄曇

カワウ ヨシゴイ アマサギ ダイサギ チュウサギ コサギ アオサギ カルガモ トビ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ タ



(金子 博子)

ゲリ クサシギ タカブシギ タシギ ウミ  
ネコ シラコバト キジバト ヒバリ ハク  
セキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ シジ  
ュウカラ ホオジロ ホオアカ カシラダカ  
アオジ オオジュリン カワラヒワ スズメ  
ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス  
(35種) タゲリの編隊飛行にワシタカの飛行。  
見上げる空は薄曇り。まぶしくなくて、ベリ  
ーグッド。(福井恒人)

11月14日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 28人 天気: 曇後晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ ア  
オサギ コハクチョウ マガモ カルガモ  
オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キ  
ンクロハジロ キジ イソシギ キジバト  
コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキ  
レイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ウグ  
イス シジュウカラ ホオジロ カシラダカ  
アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハ  
シボソガラス ハシブトガラス (32種) 今に  
も雨が降りだしそうな空のせいか、参加人数  
は少なかった。初参加の人が多かったので、  
道のぬかるんでいる野鳥の森を止めて、コハ  
クチョウを見に行くことにした。ジョウビタ  
キ、カシラダカなどの冬鳥を観察しながら、  
堤防を歩き、途中の林でコゲラを見つける。  
彼は巣穴を掘るのに夢中であった。畔にする  
つもりなのかもしれない。皆で真ん丸の穴を  
見て、彼の腕前に感嘆した。明戸堰では、予  
定どおりコハクチョウが見られたが、増水し  
ているためカモたちは遠くの方へ避難してし  
まった。いつしか雲一つない上天気となっ  
ていた。(菱沼一充)

11月14日(日) 桶川市 川田谷

参加: 25人 天気: 晴

カワウ コサギ アオサギ マガモ オオタ  
カ コジュケイ タゲリ クサシギ タシギ  
キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセキ  
レイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ  
モズ ジョウビタキ ツグミ ホオジロ カ  
シラダカ カワラヒワ スズメ ムクドリ  
ハシボソガラス ハシブトガラス (26種) 明

け方まで残った雨も、探鳥会開始前には止ん  
だが、たんぼは一面水浸し。道路も一部水没  
し、コースも変更。タゲリは、たんぼにおり  
ている約60羽の群れと、約130羽の飛翔。雨  
上がりの真っ青な空をバックに飛翔する白と  
黒はまぶしかった。北に向かうカワウ。カギ  
になり、サオになり、次から次へと続く約10  
00~1500羽の群れには感激! オオタカも出た  
し、ハクセキレイとタシギもたくさんいた。  
カワラヒワの水浴を逆光で見たのもきれいだ  
った。年毎にたんぼの客土と排水工事による  
乾田化の進む江川流域。来年も再びタゲリに  
会えるように希望する。(吉原俊雄)

11月23日(火、休) 行田市ささたま古墳公園

参加: 107人 天気: 晴

カイツブリ ゴイサギ コサギ アオサギ  
マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ  
ヒドリガモ オナガガモ ハイタカ キジバ  
ト コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セ  
グロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタ  
キ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジ  
ロ ホオジロ アオジ オオジュリン カワ  
ラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス  
オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス  
(34種) 100人余の参加者の期待に応えなけ  
ればと緊張のスタート。終わってみればバラ  
エティーに富んだ34種。おだやかな日和にめ  
ぐまれてラッキーな結果になりました。低く  
飛んだハイタカ、古墳の池で見つけたオカヨ  
シガモなど印象深いものでした。アフターは  
地元の関口のお兄さんのトン汁サービスと行  
田地誌ガイドのおマケもついて大満足。あり  
がとうございました。(内藤義雄)

あけましておめでとうございます  
平成六年 元旦



(岩崎 雄二)

連絡 中長

■土曜日当番と校正の日

私たちの埼玉県支部は、一人も専従職員がおらず、役員・リーダーなど全員がボランティアで活動しています。

事務局は担当者の海老原美夫が、自分の仕事の合間に、忙しく支部の電話連絡・事務処理などに当たっています。そのため会員の皆様のご要望に十分にこたえることができず、ご迷惑をおかけしています。

それをカバーするのが土曜日当番。土曜日には役員・リーダーが交代でさまざまな事務処理などをこなします。毎月掲載しているのが、その担当者名。事務局にご用の方は、できるだけ土曜日にご連絡をお願いします。

編集会議と袋づめの会の間の土曜日は、校正の日。『しらこぼと』印刷の校正作業をします。どなたでもできる簡単な仕事です。まっさきに『しらこぼと』を読みたい方、何か支部活動を手助けしたいなど考えていた方、どうぞお集まりください。

■2月の土曜日当番(2時～6時)

- 5日 中島康夫 楠見邦博 (普及部会議)
- 12日 山部直喜 海老原美夫 (編集会議)
- 19日 笠原伸子 工藤洋三 (校正の日)
- 26日 袋づめの会 (1時から)

■今年もレンジャクの渡り情報を

1992レンジャク年度は当たり年だったそうです。今年もよろしくと手紙が届きました。

観察地(住所などと、市街地/郊外/山野などの区別、平地/河川・湖沼/自宅の庭などの区別)、キカヒか混群か、観察したすべての年月日と羽数を、6月30日までにお送りください。

レンジャクの渡り情報カード用紙もあります。ご希望の方は、連絡先にご請求ください。

連絡先=400 甲府市

日本野鳥の会甲府支部 甲府レンジャク調査隊

■幹事の馬場昇さんが永眠■

東京都生まれ。東京工業大学を卒業後、日本車輛製造(株)で東海道新幹線の設計などに従事。1988年、本会に入会。1992年から当支部の幹事として活躍しておられた馬場昇さんが、1月8日(土)午前1時21分、十二指腸癌で永眠されました。享年70才。

三室や大宮市民の森探鳥会などで、いつも元気いっばいに歩き、大声で笑っていたあの馬場さんが亡くなるなんて、信じられない思いです。

通夜と告別式には多数の支部幹事らが参加、別れを惜しみました。

心から冥福をお祈りします。

●会員数は

1月1日現在 2,331人です。

活動報告

11月28日 12月号を郵便局から発送。

12月11日 1月号編集作業。

12月18日 1月号校正作業(内藤義雄、工藤洋三、大武昭雄、海老原美夫)。

12月18日 役員会議(司会・柳原正昭、各部の報告・パネル展の企画見直し・その他)。

12月27日 1月号を郵便局から発送。

編集後記

帰省の楽しみに鳥見がある。今回の収穫はハヤブサ。2日間で5個体は確認。うち1羽は猛禽大好きな支部長さんの顔にダブる。ライフ・リストにもクロサギが加わり、ほくほく顔で埼玉に戻る。(山部)

世間の冷たい風にも負けず、家人の洗い顔にもめげず、年末年始休みは毎日フィールドをうろついて、ほとんどホームレス。遊びすぎて、編集会議当日になってようやく原稿書きに着手。何とか間に合った。(海老原)

午前中にカモを数えて、急いで支部事務所にやってきて編集作業。自転車操業の我が編集部を象徴するような一日です。(森本)

『しらこぼと』1994年2月号(第118号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)  
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 東京9-121130  
印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)